



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

国立二小だより

令和3年(2021年)12月24日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

友達と過ごす時間

校長 小林 理人

「高くほこりある物」これは、6年生が卒業に向けて取り組んでいる卒業文集の中で使われていた言葉です。6年生は小学校生活を振り返り、心に残った出来事や大切な人への想い、将来の夢などを書く内容や言葉を吟味しながら詩や作文にまとめました。そして、文中にはこの言葉のように子供たちの想いがつまった素敵な言葉がたくさんありました。

では、「高くほこりのある物」の言葉の意味は何でしょう。それはこの言葉が使われている詩の題名にありました。題名は「友達」です。私は、この児童が小学校生活で得た友達を「高くほこりある物」と表現したことに心が震えました。また、他の児童の作品にも自分を変えたり支えてくれたりした友達への感謝の言葉や想いの詰まった素敵な言葉がたくさんありました。私はその子らしい表現で書かれた友達との思い出を一人一人の成長と重ね合わせて読みました。そして、子供たちの成長にとって友達という存在の大きさや友達と過ごす時間の大切さを改めて感じました。

長かった2学期が終わりました。この2学期は感染者数が減少し、感染予防対策を講じながら友達と関わる活動ができるようになりました。これまでできなかったことが少しずつできるようになり、友達と過ごすことの楽しさや難しさ、そこで得るものの大きさを改めて感じました。

運動会や学芸会に代わって行われた学習発表会はその最高の舞台となりました。子供たちは代表委員がつくった全校スローガンを意識し、友達と協力して一つの演技を創り上げました。みんなで一つのことを仕上げることの楽しさや難しさを味わい、友達との絆を深めたり確かめたりしました。

校外での集団活動も感染予防対策を講じながら行うことが出来ました。1年生は生活科で近くの公園に行きました。公園のルールを守りながら友達と楽しい時間を過ごしました。2年生はおもちゃづくりをしました。自分たちでつくったおもちゃで友達と協力したり工夫したりして遊びました。

3年生は矢川たんけんに行きました。みんなと一緒に長い距離を歩いて移動したり、同じ学習テーマの友達と助け合い協力し合いながら活動したりしました。4年生は学習発表会に向けて調べ学習を行いました。インタビュー活動や調査活動を友達と協力し、共通の目的をもって行動しました。

5年生は夏休みに実施できなかった野外体験教室をよみうりランドで行いました。自分だけではなくみんなで楽しむことをテーマとし、そのためにすべきことを考えながら友達との楽しい思い出を作りました。6年生の日光移動教室ではグループの行動計画を自分たちで決めました。友達と一緒に過ごす楽しさを味わい、忘れることができない小学校生活の思い出を作りました。

プラタナスの子供たちは休み時間にフリスビーを使って楽しく遊びました。学年を越えてみんなで遊ぶ姿が微笑ましく、嬉しかったです。

また、友達と過ごす中では、うまくいかないことや苦労したりすることもありました。そんな時は担任からの指導・支援はもちろんのこと、友達からの支えや保護者の皆様の温かい励ましによってトラブルや問題を解決しようと思いました。そして、そのことも友達と上手に関わるすべを身に付けたり、友達との絆を深めたりすることにつながったようです。

私たちは今コロナ禍で人と直接関わるすることができない寂しさや不自由を経験しています。子供たちはその経験を通して改めて友達の有難さ、友達と過ごす時間の楽しさ、難しさを感じているようです。3学期はこれまで友達と過ごす中で学んだことや成長したことを確かめ合い認め合い、1年間のまとめや仕上げを行います。そして、新しい学年に向けての準備を進め、4月から始まる新しい学年に向けて新たな目標づくりにつなげる学期にしていきたいと思えます。

1年の結びに、保護者、地域の皆様には毎日の健康管理等に加え、学校行事の開催や日常の学校生活に関わるご配慮、ご協力をいただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。年末年始がご家族と過ごす楽しい時間になることを心からお祈りいたします。良いお年をお迎えください。